

様式（第6条関係）

会 議 録

会 議 名	第22期小金井市公民館企画実行委員の会議 第2回		
事 務 局	小金井市公民館 緑分館		
開 催 日 時	平成24年9月4日（火）午前10時～正午		
開 催 場 所	小金井市公民館 緑分館 集会室		
出 席 委 員	【企画実行委員】 金田 貞子 定塚 邦彦 服部 豊 森実 邦明 山本 大毅 吉田 孝 【職員】 若藤 良弘 戸木 信雄 野津 幸代		
欠 席 委 員			
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	1 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 報告事項 （1）音楽鑑賞のつどいについて （2）共働夢農園「親子コース」について 2 審議事項 （1）国際交流イベントについて （2）成人学校について 3 その他		
発言内容・ 発言者名 （主な発言 要旨等）	司会 金田委員 1 報告事項 （1）音楽鑑賞のつどいについて 〔野津〕資料に掲載していますので見ていただきたいと思います。1月11日（日）午後2時～4時に「Afternoon Concert」でヴァイオリンの宮下要さんとピアノの角田恭子さんにお願いしました。また、1月13日（日）午前10時～正午に「緑New Year Concert」で清水智子さんにピアノと歌をお願いしました。 （3）共働夢農園「親子コース」について 〔戸木〕とうもろこし作りを4月21日から7月21日までの間の土曜日に全5回実施しました。今年は4、5月が平年より気温が低く日照が少なかったため4月21日にまいた種が半分しか発芽しませんでした。このため、次の実施日の5月12日に追加で種をまきました。最終実施日7月21日、本来の予定ではこの日収穫の半分を受講者が自宅へ持ち帰ってもらい、残りを緑分館の野外調理場で焼きとうもろこしを作って		

子ども達に食べてもらうこととしていましたが、収穫量が半分なので自宅へ持ち帰ってもらって終了しました。そして8月4日に残りの収穫を農園に来られる人で分配し自宅へ持ち帰ってもらいました。6月の季節外れの台風の襲来に対する備え、ハクビシンの食害対策等、収穫まで大変でしたが、親子コースは子ども達も若い親御さんもととても楽しんでいきますので今後も続けていきたいと思います。

2 審議事項

(1) 国際交流イベントについて

〔若藤〕現在内容、形態等が未定なので、来月には決めたいと考えています。提案、ご意見等いただければと思います。

〔森実〕前回も提案しましたが講師として市内に在住する有名な外国人を調査してみたらどうでしょう。

〔若藤〕個人情報の関係で候補を絞るのは難しいでしょう。

〔森実〕どうしても困難なようでしたら生活日本語教室の外国人の中から探してみます。

〔服部〕国際基督教大学に当たってみるのはどうでしょうか。

〔野津〕イベントにするか国際理解（座学）にするか決めることが必要でしょう。

〔金田〕先に国だけでも決めるのが良いと思います。

〔出席者〕ラテンアメリカが良いと思います。

〔若藤〕ラテンアメリカに決定し、切り口、テーマは次回、具体案を示させていただきます。

(2) 成人学校について

〔若藤〕自転車講座について（案）を示させていただきました。平成22年度に実施した講座の続編として初心者向けの講座を実施したいと考えています。4回のうち1回をアイスブレーキングとサイクリングを合体させて参加者に実際に自転車に乗ってもらい交流を図ることで講座がスムーズに運ぶと考えました。講師は現在検討中です。実施時期については寒さの緩んでくる3月が適当と考えています。

〔野津〕成人学校の予算がありますので、何か案が有りますでしょうか。受講者の年齢制限ありませんのでどのような企画でも良いと思います。

〔山本〕千葉県佐倉市にある国立歴史博物館は内容が充実していますので良いと思います。

〔金田〕和紙のちぎり絵はどうでしょう。楽しいと思います。

〔野津〕色々な案が出ましたので、候補として、佐倉市の国立歴史博物館見学、たけとんぼ体操、和紙のちぎり絵、能面作り、米粉のケーキ作り、五平もち作りを当たってみることとし、12月、2月に実施するよう進めていきたいと思います。

3 その他

〔若藤〕成人大学についてです。例年9月からの実施でしたが、先週、

東京農工大学の担当から連絡があり、講師の調整と学園祭等の都合で11月17日～12月15日の間の毎週土曜日全5回の予定で進めていくことになりました。講座の詳細は決定次第お示しします。

担当は金田委員と新たに服部委員、吉田委員にお願いします。

〔戸木〕9月19日（水）から開講の陶芸入門教室ですが、例年、定員25人に対し応募者が上回り抽選としていましたが、8月31日の締め切りで10人の応募でした。往復はがきによる申込で例年締め切り間際に申込が集中するため、今回、締め切りまで様子を見ることとし、特に受講者を増やす手立て等はいきませんでした。このため募集の受付を9月10日（月）まで伸ばして、陶芸連絡会会長の定塚委員に陶芸4サークルに受講者を当たってもらうこととしました。なお、講師は受講者が10人でも問題なく進められるとのことでした。

〔戸木〕共働夢農園の野菜作りコースについてです。前回の会議で森実委員から今後の運営について大梓事務局として示してほしいとのことでした。公民館としてはまだ検討中ですが担当者としての考えは自主サークル「あすなろ」に公民館の主催事業であることを良く認識してもらい、受講生により解り易く、親切に留意するよう申し入れて、了承されました。昨年の受講生9人のうち3人が「あすなろ」に入って活動されていますので、全ての方が現在の運営に問題があるとは思っていないのではないのでしょうか。受講生の人数が少ないのは他の公民館の農園の講座は過去の受講生も含めていますので、来年度は「あすなろ」のメンバーの方も一旦「あすなろ」を脱退して新規に受講生として申し込めば受講生が0となることはないでしょう。

〔森実〕運営の仕方を現在のOB中心（主体）では、基礎を学びたい市民にとって阻害感があるので、当年度の受講生を中心（主体）とするよう仕組みを変える必要があるでしょう。公民館が放置している部分もあると思われます。

〔吉田〕森実委員と同様、講座と自主サークルは別にすべきだと思います。受講者の人数については講座を「あすなろ」と分ければ増える可能性があると思います。

〔若藤〕公民館が放置しているわけではありませんが、過去からの経緯から「あすなろ」にお任せしている部分もあるかと思います。担当職員も頻繁に替わったことも一因かもしれません。ご意見は正論だと思います。来年度から全て変えられるかというと自主サークルへ説明し、理解と協力をいただく必要がありますので、本館の館長とも相談し他館の状況も参考に内容を整理し「あすなろ」と調整をして、来年度から取り組めることから実施したいと考えています。

〔若藤〕市報にも掲載されていますが、9月9日（日）に東京学芸大学で青少年ための科学の祭典が開催されます。これに公民館運営審議会が「昔遊びの科学」を出典します。皆さんご興味がありましたら見学してください。

提出資料	1 平成24年度音楽鑑賞のつどい「afternoon concert」実施要項 2 平成24年度音楽鑑賞のつどい「緑New Year concert」実施要項 3 共働夢農園「親子コース」実施報告 4 平成24年度国際交流イベント「未定」実施要項（案） 5 平成24年度成人学校「(仮称) 初心者のための自転車講座」実施要項（案） 6 平成24年度成人学校
------	---